

安全な道路環境をめざして 1

SAFETY FOCUS

見通しが悪く、出会い頭事故が発生しやすい交差点

●この地点で発生した事故件数

事故類型	件数
車両相互 (出会い頭)	2
人対車両 (その他横断中)	2

※平成24年中、埼玉県警察本部提供

●「SAFETY MAP」みんなの意見

危ないと感じる理由	そう思う人
見通しが悪い	7人
歩行者/自転車の飛び出しが多い	6人
道路が狭い/歩道がない	3人
スピードが出ているクルマが多い	1人

※平成26年4月3日時点



「SAFETY MAP」の表示

「SAFETY FOCUS」は、ホンダが公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜在的な道路環境の実現に役立ててもらおうことを目的としています。

「SAFETY MAP」には「みんなの意見」として一般投稿された危険スポット情報が地図上に表示されている。今回、「FOCUSエリア」(下図参照)に取り上げるのは、埼玉県内で17人の方が「みんなの意見」を投稿している場所だ。ここには、見通しが悪い(7人)、歩行者/自転車の飛び出しが多い(6人)などの投稿が寄せられている。また、この場所では、平成24年中に4件の交通事故が発生し、車両相互の出会い頭事故や横断中の歩行者と車両との事故が起きている。

※「SAFETY MAP」の詳細は紙面下を参照。

現場をたずねる

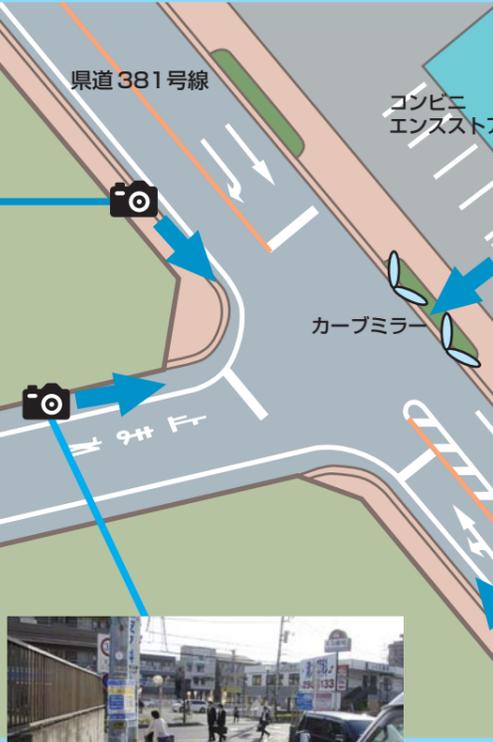
県道381号線に接続する道路は交差点に向かって坂道になっており、JR東川口駅前に向かうための抜け道として利用されている。坂道を下りながら交差点に向かうと、両脇がブロック塀になっているため、左右を見渡せるのは県道の直前になってから。突き当たりにはカーブミラーが設けられ、県道を走行する車両の存在は確認できるが、自転車や歩行者の存在は見づらい状況だった。

現場をたずねたのは通勤・通学時にあたる午前7時から8時頃。県道沿いの歩道は多くの歩行者が足早に駅へ向かっていた。自転車は歩道が普通自転車歩道通行可となっているため、車道と歩道を使い分けて走行していた。坂道を下る自転車は、交差点を通過する際、停止線で止まらないケースがほとんど。午前7時からの約1時間に坂道を下ってきた自転車は53台のうち、50台が一時停止をしていなかった。また、左右の安全確認をおろそかにしている自転車も多数見られた。車道は両方向とも一定量のクルマが走行していた。

FOCUS エリア 埼玉県川口市戸塚2丁目 県道381号線



左折時、ドライバーはクルマの左側を走行する自転車に気づきにくい



左折待ちのクルマは、車両左側を通過する自転車を認識していない状況がひんぱんに見られた(写真では白いクルマの奥に自転車がみえる)



歩道側から坂道を降りてきたクルマを確認できるのは横断直前になってから。クルマの停止線より前に進まない歩行者を確認できない

●この地点を通過する車両の一時停止の状況(台数)

	四輪車	二輪車	自転車
一時停止実施			
停止線の手前	31 24.0%	1 11.1%	0 0%
停止線を越す	54 41.9%	5 55.6%	3 5.7%
一時停止無視	44 34.1%	3 33.3%	50 94.3%
合計	129 100%	9 100%	53 100%

※観察日:平成26年4月1日 午前7時~8時

坂道を下るクルマのなかには、県道を走行する自転車や歩行者をカーブミラーで確認しているケースも多く、一時停止せずに合流するケースがあった

一時停止の確実な実施と周囲の安全確認を徹底

現場で危険を感じたのは、左折して県道へ合流するクルマの左側を自転車や歩行者が通過すること。左折待ちのドライバーはクルマの流れに気をとられ、自転車に気づいていない様子だった。クルマと自転車の間隔は1m以下であり、左折時の巻き込み事故につながりかねない。道幅が狭く、見通しが悪い道路では、自転車や歩行者の動きについて特に注意して運転に臨むことが重要である。

自転車利用者は一時停止標識のある場所では一度必ず停止し、クルマと歩行者の状況を確認してから交差点を通過する必要がある。左折待ちのクルマがいる場合は後方で発進を待つほうが安全である。車両左後方はドライバーの死角であり、無理にすり抜けると巻き込み事故につながりかねない。

ドライバーに歩行者や自転車の存在を意識させる

坂道を下ってきたクルマが交差点に入ると、周囲の状況を確認するために停止線の手前で止まらなければならない。しかし、実際は徐行せずに停止線へ近づき、停止線を越え、歩行者や自転車が行けるスペースに入ってから停止していた。例えば、停止線を現状より手前に移し、クルマが一時停止した後にゆっくりと県道に近づけるようにできないだろうか。

坂道を下ってきた歩行者や自転車が、交差点正面にあるコンビニエンスストアに立ち寄るために県道を横断するケースも目立った。この場所には横断歩道がないため、県道を走行するドライバーに横断する歩行者や自転車への注意喚起を促す表示なども必要だと思われる。

埼玉県警察では今後、現場を調査し、安全対策を検討することとしている。



県道を横断する自転車

坂道を下ってきた自転車は、県道手前で一時停止することなく交差点を通過していた



右折待ちの車両から坂の様子ほとんど見えない。右折が完了してから車両や歩行者の状況が分かる

「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします!

<http://www.honda.co.jp/safetymap/>

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Hondaのインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちのPC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危ないと感じることのある場所があったら、情報を投稿してください。